

令和2年第1回定例会3月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大の防止について

・発熱や咳などの風邪症状がある場合には、傍聴はお控えください。

発言順位 ※ 順位については予定です。

2月27日(木)

- | | | | | |
|-----|--------|----|-----------|-----------|
| (1) | 三好 宏 | 議員 | (自民党 真誠会) | …………… P 2 |
| (2) | 松井 久美子 | 〃 | (公明党) | …………… P 3 |
| (3) | 吉田 秀夫 | 〃 | (フォーラム明石) | …………… P 4 |
| (4) | 筒泉 寿一 | 〃 | (維新の会) | …………… P 5 |
| (5) | 出雲 晶三 | 〃 | (未来明石) | …………… P 6 |
| (6) | 森 勝子 | 〃 | (維新の会) | …………… P 7 |
| (7) | 丸谷 聡子 | 〃 | (未来明石) | …………… P 8 |
| (8) | 石井 宏法 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P10 |

2月28日(金)

- | | | | | |
|------|--------|---|-----------|-----------|
| (9) | 国出 拓志 | 〃 | (公明党) | …………… P11 |
| (10) | 竹内 きよ子 | 〃 | (フォーラム明石) | …………… P13 |
| (11) | 楠本 美紀 | 〃 | (日本共産党) | …………… P14 |
| (12) | 家根谷 敦子 | 〃 | (スマイル会) | …………… P16 |
| (13) | 北川 貴則 | 〃 | (維新の会) | …………… P17 |
| (14) | 灰野 修平 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P19 |

3月2日(月)

- | | | | | |
|------|--------|---|-----------|-----------|
| (15) | 尾倉 あき子 | 〃 | (公明党) | …………… P20 |
| (16) | 林 丸美 | 〃 | (フォーラム明石) | …………… P21 |
| (17) | 千住 啓介 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P22 |
| (18) | 飯田 伸子 | 〃 | (公明党) | …………… P23 |
| (19) | 寺井 吉広 | 〃 | (自民党 真誠会) | …………… P24 |
| (20) | 辻本 達也 | 〃 | (日本共産党) | …………… P25 |

発言内容詳細

(代表質問)

発言順位	1	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 令和2年度新年度予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 過去最大規模の予算を組んだことについて (2) 法人市民税減収の要因は。 (3) 臨時財政対策債減少の要因は。 (4) 基金残高の減少見込みについて <p>2 新年度の主な取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 中学校給食の無償化について (2) 防災・災害対策について (3) 幼稚園における保育枠の拡充について (4) 新たな奨学金制度の検討について <p>3 新型コロナウイルスへの対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルスへの対応について 		

(代表質問)

発言順位	2	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 0歳児の見守り事業と高齢者の支援について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 0歳児の見守り事業の必要性と事業概要について(2) 0歳児の支援だけでなく高齢者の支援を。(3) こども施策と高齢者施策のバランスについて <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 保健所としての対応について(2) 感染が拡大した場合の市の対応について <p>3 子どもの予防接種の特例措置について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 小児がんや慢性疾患等で予防接種が定期接種期間内に接種できなかった場合の支援について(2) 骨髄移植後等の予防接種の再接種は全額自己負担となるため、市として助成制度の創設を。 <p>4 市内にストリートピアノの設置を</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 音楽を通して、まちのにぎわいづくりや交流を図るため、市内にストリートピアノの設置を。		

(代表質問)

発言順位	3	議員名	吉田 秀夫 (フォーラム明石)
発言事項	<p>1 待機児童対策と保育の質の向上について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 2020年4月時点での保育所待機児童見込み数について(2) 用地確保など、今後の保育所の整備について(3) 保育士の確保と保育の質について(4) 受け入れ枠拡充と保育環境について(5) 幼稚園の3年保育と預かり保育について(6) 幼稚園給食の実施について		

(代表質問)

発言順位	4	議員名	筒泉 寿一 (維新の会)
発言事項	<p>1 新型コロナウイルス対策について (1) 本市の取り組みについて</p> <p>2 働き方改革について (1) 業務効率を上げて残業を減らすための取り組みについて (2) 先進事例の導入について</p> <p>3 気候変動対策について (1) 地球温暖化対策について</p>		

(代表質問)

発言順位	5	議員名	出雲 晶三 (未来明石)
発言事項	<p>1 本市の財政状況と将来の財政運営と見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 無償化施策による歳出増加と将来の財政への影響について(2) 人口増加と歳入増加のバランスについて(3) 国の財政状況が本市に及ぼす影響について(4) これからの財政見通しと持続可能な財政運営について <p>2 新庁舎整備事業への市民参画と民間売却予定について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 新庁舎整備事業の進捗状況と市民参画の状況について(2) 新庁舎現地建てかえ完了後の現庁舎等の市有地の民間売却予定について		

発言順位	6	議員名	森 勝子(維新の会)
発言事項	<p>1 西明石活性化について</p> <p>(1) その後の取り組みは。 (要旨) 車両基地・新駅整備について、JR西日本との協議が相当進んでいるとお聞きしていますが、取り残されている西明石、特に南部のまちづくりにどのように取り組んでいくのですか。</p> <p>(2) 今後の見通しは。 (要旨) 駅周辺を中心として、南北に人々が行き交うにぎわいづくりが必要だと思いますが、今後の見通しをお聞かせください。</p> <p>2 おむつ無料宅配について</p> <p>(1) 業者任せの宅配方法について (要旨) 本当にきめ細やかな見守りサービスが実現できるのでしょうか。</p> <p>(2) 配付物の選択性について (要旨) おむつ等の「等」には何が含まれているのでしょうか。</p> <p>3 婚活支援について</p> <p>(1) 婚活支援の取り組みについて (要旨) 少子化を打開するためには婚活支援も必要な時代です。本市が独自に行っている婚活支援の取り組みをお聞かせください。</p>		

発言順位	7	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>1 (仮称) あかしインクルーシブ条例の検討状況について</p> <p>(1) 条例が目指すインクルーシブ社会について (要旨) 本市が条例を制定して目指すインクルーシブ社会とはどのような社会なのか。この条例ができて何が変わるのか。明石市障害者配慮条例との違いを市民にわかりやすく伝える必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 地域に根差したインクルーシブ社会のまちづくりについて (要旨) 地域に根差したインクルーシブ社会を実現するためには、市民の理解や参画、協働が重要である。条例検討に当たっては、広く市民の声を聞くための対話や意見交換の場が必要ではないか、市の見解を問う。</p> <p>2 放課後児童クラブの運営体制強化について</p> <p>(1) 委託先の変更について (要旨) 放課後児童クラブの運営体制強化を目的に2020年4月1日から市内27小学校区の委託先を一般財団法人あかしこども財団に変更することになっているが、どのように強化されるのか。体制は整っているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 放課後児童支援員(指導員)確保と支援体制の充実について (要旨) 子どもたちが安心して放課後の時間を過ごすためには、放課後児童支援員(指導員)が誇りを持って働ける環境が必要である。そのためには、処遇改善や主任制度の充実、外部からの指導員アドバイザー導入など、新たな発想での仕組みづくりが必要であると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 受け入れ態勢について (要旨) 2020年度の受け入れ態勢は整っているのか。また、支援が必要な子どもの受け入れについてどのような対応をしているのか。インクルーシブな環境になっているのか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 放課後児童支援員(指導員)の研修の充実について (要旨) 県で実施している放課後児童支援員の認定資格研修を来年度から本市で実施すると計画されているが、それにより支援の質をどのように向上させることができるのか。あわせて、市独自の研修の充実も必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発 言 事 項	3 安心して生きる力を育める「こどもの居場所」について		
	<p>(1) 多様な学びを保障するこどもの居場所について (要旨) 本市には、こどもの多様な学びを保障する学校外での公的な居場所がない。教育機会確保法の理念に沿った安心して過ごせる居場所づくりが急務であると考えているが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 身近な自然を体感できるこどもの居場所について (要旨) 川崎市子ども夢パークのような、こどもたちが明石の豊かな自然を体感しながら生きる力を育める居場所、遊び場が必要であると考えているが、市の見解を問う。</p>		
	4 新幹線車両基地問題について		
	<p>(1) 市民への情報公開について (要旨) 明石市自治基本条例第21条「情報の共有における市長等の責務」に基づき、JR西日本とのやりとりの全てを市民に公開すべきではないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 明石市農業基本計画との整合性について (要旨) JR西日本から示された地域は、農業振興地域内の農用地である。本市が策定した明石市農業基本計画で示されている将来像との整合性について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 自然環境への影響について (要旨) JR西日本から示された地域は、まとまりのある自然を有し、絶滅危惧種も多く生育・生息し、明石市における生物多様性の保全・再生の拠点と位置づけられている。また、去年はコウノトリが長期滞在した地域でもある。自然環境への影響について、市の見解を問う。</p> <p>(4) 生活環境への影響について (要旨) 子育て世代の市民から、電磁波や騒音の被害など、生活環境が一変するのではないかと不安の声を多く聞いている。生活環境への影響について、市の見解を問う。</p> <p>(5) 総合治水対策への影響について (要旨) 大規模な車両基地ができれば、今まで農地の地下に浸透していた雨水等の流れは大きく変化する。また、農地やため池の持つ貯水機能の活用もできなくなる。総合治水対策への影響について、市の見解を問う。</p> <p>(6) SDGs 未来安心都市・明石が目指す未来について (要旨) 車両基地は、候補となっている地域に限定した問題ではなく、明石のまちづくりの根幹を揺るがすものである。本市が目指すSDGs 未来安心都市に必要なのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 全国豊かな海づくり大会実施及び豊かな海づくり推進について</p> <p>(1) 全国豊かな海づくり大会の準備状況と実施計画について本市の見解を問う。 (要旨) 市民からの注目度が高い全国豊かな海づくり大会について、現在の準備状況を確認したい。</p> <p>(2) 近隣市との連携について本市の見解を問う。 (要旨) 明石市単独で海を豊かにする取り組みを行っても効果は限定的である。近隣の市町と連携し、豊かさをつくっていく必要があると考える。</p> <p>(3) 食育について本市の見解を問う。 (要旨) 豊かな海に対する市民の意識を喚起するために、食を通じた啓発・教育が重要であると考えます。</p> <p>(4) 海のごみ問題について本市の見解を問う。 (要旨) 海のごみ問題を解決するために、海の防人とも呼ばれている漁業従事者との連携が必要不可欠と考えます。</p>		

発言順位	9	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 教育環境について</p> <p>(1) 教科書の選定について (要旨) 本市の教科書は、小学校ではCUD（カラーユニバーサルデザイン）の教科書を採用していますが、中学校の教科書には採用されていません。本市のSDGsの理念から考えて、中学校でも採用すべきではないでしょうか、市の見解を問います。</p> <p>(2) スクールカウンセラーについて (要旨) 県への働きかけはもちろん、スクールカウンセラーの市単独の採用がもっと必要ではないでしょうか、市の見解を問います。</p> <p>(3) 外国人の子どもたちへの対応について (要旨) 本市における外国人の不就学児童の実態と対応、就学はしているものの不登校になった場合の対応は。また、日本語に習熟できない子どもへの対応について問います。</p> <p>(4) 小中学校の体育館にエアコンを設置しないか。 (要旨) 市としてどのような検討をされてきたのでしょうか、具体的な見解を問います。緊急防災・減災事業債の活用による実情に応じたエアコンの設置をすべきではないでしょうか、市の見解を問います。</p> <p>2 防災・減災対策について</p> <p>(1) 被災者支援システムについて (要旨) 平成23、24年の本会議質問以降、現在までにどのような調査・研究をされてきたのでしょうか、現状を問います。新年度予算にもありましたが、この先AIの導入も検討されているようであり、システムの本格的な導入に向けた取り組みが今こそ必要ではないかと考えますが、市の見解を問います。</p> <p>(2) 災害時の在宅避難者と車中避難者について (要旨) 在宅避難者や車中避難者への情報提供や食糧提供について問います。</p> <p>3 受動喫煙から子どもたちを守る市の責務について</p> <p>(1) 県の受動喫煙の防止等に関する条例改正に伴う市の取り組みについて (要旨) 本改正により、条例に基づく指導及び助言等の事務が保健所設置市に移譲されることとなりました。特に通学時間帯における通学路の受動喫煙防止対策は、市として徹底して取り組んでいかなくてはならない喫緊の課題と考えます。そのために、本市はどのように対策、対応を取られるお考えでしょうか。</p>		

発言順位	9	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>(2) JR西明石駅南側の喫煙所について (要旨) 県条例から考えても、早急に喫煙所の移動を検討すべきではないでしょうか。通学する子どもたちが喫煙区域に立ち入らざるを得ない環境を放置しておいてよいわけがありません。市の見解を問います。</p>		

発言順位	10	議員名	竹内 きよ子（フォーラム明石）
発言事項	<p>1 ユニバーサルデザインのまちづくりについて</p> <p>(1) 災害時に避難所となる小学校のエレベーターや多目的トイレの設置状況について (要旨) まちづくりの観点から高齢者の方も小学校を利用する機会がふえている現状があるだけでなく、災害時に避難所となることから、エレベーターや多目的トイレが必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(2) 明石駅前（仮称）ユニバーサルツーリズムセンターの整備内容について (要旨) 同センターは、2020年3月中旬に明石駅ビル内に完成予定であり、障害の有無、年齢、性別、国籍などにかかわらず、誰にもやさしい観光案内所としている。多目的トイレなどの利用時間、子育てサポートスペース、外国人対応など、どのような配慮がされているのかを聞く。</p> <p>2 食品ロス削減の現状と今後の本市の取り組みについて</p> <p>(1) 食品ロス削減の現状と本市の取り組みについて (要旨) 社会問題になっている食品ロス削減に向けて本市ではどのような方法で削減を推進しているのか。</p> <p>(2) 学校における警報発令時の給食廃棄状況と日々の給食残渣の状況について (要旨) 警報発令時の小・中学校給食の食材の廃棄処分の内容と処分方法を聞く。また、日々の食べ残しや調理くずといった給食残渣の状況と資源の有効活用対策など、市の見解を聞く。</p> <p>3 不登校児童生徒への支援のあり方について</p> <p>(1) 明石市の不登校の状況について (要旨) 昨年9月議会でも質問したが、中学生になると学校に行けなくなる割合が多くなる現状に、市はどのように対応しているのか。</p> <p>(2) 多様な教育機会を確保するため、子どもたちの居場所を公設民営でつくってはどうか。 (要旨) 不登校の子どもたちの居場所づくりのためにフリースクールのような場所が必要になると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	1 放課後児童クラブの充実について		
	<p>(1) 職員の処遇は引き継がれるのか。 (要旨) 2020年度から、放課後児童クラブの運営委託先が一般財団法人あかしこども財団に移行するが、職員の処遇は引き継がれるのか、改善は図られるのか。</p> <p>(2) 支援の必要な児童について (要旨) 支援の必要な児童を担当している指導員の研修は、どのように行われているのか。小学校の担任教諭との連携はどうされているのか。</p> <p>(3) 子どもを保育所に預けて勤務している指導員の勤務時間について (要旨) 現在、常勤指導員の勤務時間は、12時30分から18時30分と13時から19時までの2交代制となっている。13時から勤務では保育所の迎えに間に合わないため、指導員の実情に応じて12時30分からの勤務を選択できるようにできないか。</p>		
	2 ひきこもり支援事業について		
<p>(1) 支援相談について (要旨) 本市では、昨年7月1日からひきこもり専門相談を開始し、今年度末までの相談見込み件数は750件となっているが、その分析結果を問う。本市独自の特徴的な傾向はあったのか。</p> <p>(2) 親への支援について (要旨) 根本厚生労働大臣(平成31年4月当時)が「大人のひきこもりは新しい社会的問題だ。さまざまな検討、分析を加えて適切に対応していくべき課題だ」と述べたことにより、ひきこもりの認識が大きく変わった。親への支援について聞く。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて (要旨) 2019年度に行われたひきこもり問題を考える会「陽だまりの会」とあかし保健所との共催のセミナーは大変好評だったと聞く。今後の取り組みについて聞く。</p>			
3 市民の安心・安全を守る市民病院について			
<p>(1) 再編・統合の議論について (要旨) 厚生労働省が発表した再編・統合の議論が必要な公立・公的病院の中に明石市立市民病院も入っていたが、どのような経緯によるものなのか。</p>			

発言順位	11	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 市民病院の役割について (要旨) 市民病院は、災害やO - 157・新型インフルエンザの大流行時などに中心となって対応することが必要な医療機関だと考える。</p> <p>(3) 再編・統合の結論を迫られているが、本市の見解は。 (要旨) 全国知事会、全国市長会、全国町村長会などから大きな反発の声があがったが、国は期限を設けて結論を出すよう対象病院に要請するとしている。本市の見解を聞く。</p>		

発言順位	12	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 ユニバーサルツーリズムについて</p> <p>(1) ユニバーサルツーリズムについて (要旨) 「すべての人にやさしいまちづくり」を掲げる本市におけるユニバーサルツーリズムを取り入れた具体的な施策や、バリアフリー化に向けた取り組みについてお尋ねしたい。</p> <p>2 総合福祉センター新館について</p> <p>(1) 利用促進の周知について (要旨) 本市が掲げる「やさしいまちづくり」や「共生社会ホストタウン」の発信拠点として昨年5月にオープンした総合福祉センター新館の利用を促進する方法についてお尋ねしたい。</p> <p>3 手話言語・障害者コミュニケーション条例について</p> <p>(1) 障害者の理解促進に関する取り組みについて (要旨) 平成27年3月に手話言語・障害者コミュニケーション条例が制定された後、毎年、市内全小学校にて手話体験教室が行われている。しかしこれ以外にも、さまざまな障害について、さらに理解促進に取り組む必要がある。今後の体験教室の展開についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	13	議員名	北川 貴則(維新の会)
発言事項	<p>1 福祉の充実について</p> <p>(1) 老老介護について (要旨) 老老介護は、家庭の事情などにより高齢者が高齢者の介護をせざるを得ない状況のことで、生活資金や要介護者の世話をを行う時間に余裕がないケースが少なくなく、介護する側が介護疲れで入院するなど、共倒れする危険性や、時には殺人事件や心中・自殺に至った例もあり、今日の大きな社会問題の一つでもあります。本市の現状と解消に向けた取り組みについて、お聞かせください。</p> <p>(2) 「8050」問題について (要旨) 8050問題とは、80代の親が50代の子どもの生活を支えるという問題で、背景にあるのは子どものひきこもりだそうです。子どもが40代から50代になるとともに、その親が70代から80代になり、長期化、高齢化することで、こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。本市での現状と取り組みについて、お聞かせください。</p> <p>(3) 子どもたちの貧困の解消策について (要旨) 子どもの貧困問題は、健康や学力にも悪影響を及ぼすため、健全な青少年育成の観点からも解消しなければなりません。貧困の連鎖を断ち切るために、行政のみならず地域の協力を得るなどして見えない貧困を把握し、解消策を講じなければなりません。本市の取り組みをお聞かせください。</p> <p>(4) 保育所の待機児童ゼロについて (要旨) 来年度こそ待機ゼロは達成できるのでしょうか。本市の取り組みをお聞かせください。</p> <p>2 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について</p> <p>(1) 自然災害を想定した危険箇所の把握・補強と命を守る安全対策について (要旨) 近年の自然災害は、過去の安全基準を超えた規模で発生し、猛威を振るい、被害規模も年々増大し続けています。本市の危険箇所の安全対策について、お聞かせください。</p>		

発言順位	13	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p>3 新年度予算と人口増策について</p> <p>(1) 健全財政、持続可能な予算編成について (要旨) 「住みよいまちづくり」には、安定した行政サービスが求められます。特に新規事業の予算確保のために既存サービスのカットや、市民負担増、さらには公有地の売却などが頻繁に起こらないことを願います。持続可能な予算編成でしょうか、見解をお聞かせください。</p> <p>(2) 人口増加策と目標値、見込み数について (要旨) 健全財政には安定した税収が必須です。特に人口増策は重要で、その人口誘導には、「住むところ」と「働くところ」が必要です。また、企業誘致や地場産業の育成など、雇用確保、所得増のための策なども怠るわけにはいきません。今後の人口増策と人口増の目標値、見込み数をお尋ねします。</p> <p>(3) 森林環境譲与税の活用について (要旨) 森林環境税及び森林環境譲与税は、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための森林整備等に必要な財源を安定的に確保する観点から、国民一人一人が等しく負担を分かち合って森林を支える仕組みとして創設され、令和2年度は、本市にも国から2,500万円を超える金額が交付される見込みです。令和2年度の事業として、例えば海のまち明石市と山のまち養父市の交流関係を生かした新たな事業展開はできないでしょうか。お尋ねします。</p> <p>4 新庁舎について</p> <p>(1) 今後の行政サービスにマッチした庁舎について (要旨) 100年先を見据えた明石市政の本丸をどのように捉えているのでしょうか。お聞かせください。</p>		

発言順位	15	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発 言 事 項	<p>1 やさしい共生社会の実現に向けての高齢者等の移動支援について</p> <p>(1) 市東部へのたこバスの導入について (要旨) 大観、林、貴崎校区から多くの要望をお聞きし、試行的導入を提案してきたが、その後の市の考えを聞く。</p> <p>(2) 新年度の取り組みである高齢者等の移動支援について (要旨) 新年度の取り組みに高齢者等の移動支援のあり方を検討するとあるが、病院、買い物、駅、福祉施設等の循環型移動支援ができないかを聞く。</p> <p>2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進について</p> <p>(1) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの取り組みについて (要旨) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの新年度の取り組みを聞く。</p> <p>(2) 認知症の人や家族を支援する「チームオレンジ」の整備について (要旨) 昨年6月に国が閣議決定した認知症施策推進大綱に基づき、認知症の人やその家族に対する支援の仕組みである「チームオレンジ」の整備について聞く。</p> <p>3 高齢者の健康長寿のためのフレイル予防を</p> <p>(1) フレイル予防の普及・啓発について (要旨) ボランティア団体との連携や、広報あかし等でフレイル予防の普及・啓発をしないか。</p> <p>(2) フレイル予防の体制づくりについて (要旨) フレイル予防は、福祉、保健、医療、保険者など、さまざまな関係部署や関係機関が連携して取り組むべき課題と考えるが、体制づくりについて、市の考えを問う。</p>		

発言順位	16	議員名	林 丸 美 (フォーラム明石)
発 言 事 項	<p>1 子どもの遊び場・活動の場について</p> <p>(1) 安心して乳幼児・児童が遊べる児童館、もしくはそれにかわる施設、事業の必要性について (要旨) 子育てをするには、乳幼児や保護者、児童が歩いて行ける地域の遊び場、交流できる場が必要不可欠である。本市には児童館がなく、常設の子どもの居場所・遊び場が十分であるとは言えず、整備の必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 野外活動ができる場について (要旨) 財政健全化推進協議会において、2021年3月末を目途に施設の利用停止に向けた取り組みが進められることとなった少年自然の家は、市内唯一の野外活動施設である。教育の場として、また市民も利用できる活動の場としてこのような施設は必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 公園について (要旨) 公園が少ない地域、人が来ない公園、不審者対策など、現状に沿った課題解決が必要である。</p> <p>(4) インクルーシブな遊び場について (要旨) 誰もが楽しめるインクルーシブ環境を整えた公園を整備しないか。</p>		

発言順位	17	議員名	千住 啓介 (自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 天皇皇后両陛下の奉迎について</p> <p>(1) 奉迎に当たっての本市の意気込みについて (要旨) 天皇皇后陛下がおはしまし給われるに当たっての市長の意気込みをお聞きしたい。</p> <p>(2) 奉迎に当たっての組織体制について (要旨) 奉迎に当たっての組織体制はどのようになるのか。見解を問う。</p> <p>(3) 市民みんなで行う奉迎について (要旨) 市民みんなでおもてなしの心をもって奉迎することが望ましいと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 発達障害者支援について</p> <p>(1) 発達障害者の現状について (要旨) 発達支援センターへの相談件数が年を追うごとにふえている。本市における発達障害の現状を問う。</p> <p>(2) 就学前児童の療育施設の拡充について (要旨) あおぞら園・きらきは定員超過と聞く。本市の今後の対応と方向性を示すべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>(3) 療育施設の拡充について (要旨) 発達障害は改善できると考えている。おのおのに適した療育を充実させることが大切である。療育のソフト・ハード両面の拡充を行うべきと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 就労支援の拡充について (要旨) おのおのに適した就労ができることが望ましいと考える。本市の就労支援のあり方について、見解を問う。</p> <p>3 大久保北部の遊休地の利活用（仮称）明石テクノパーク構想について</p> <p>(1) 大久保北部の遊休地の利活用について (要旨) 第二神明北線の延伸計画が進んでいる中、本市として、当該土地をどのように生かすのか、見解を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>1 地域医療構想と明石市立市民病院について</p> <p>(1) 明石市立市民病院が「再編統合の再検証要請対象医療機関」となったことに対する本市の認識と現状について (要旨) 昨年、厚生労働省が公表した「再編統合の再検証要請対象医療機関」に明石市立市民病院が対象としてあげられた。これに対する本市の認識と明石市立市民病院の現状を問う。</p> <p>(2) 病院名公表による明石市立市民病院における医師を含む医療従事者確保への影響について (要旨) 病院名公表に伴う風評被害が懸念される。現在、明石市立市民病院に医師を派遣していただいている大学からの今後の医師派遣や、医療従事者の確保に影響はないか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 本市における明石市立市民病院に対する今後の取り組みについて (要旨) 市民や医療関係者の不安を解消するためには、今後も市がしっかりとサポートし、地域医療を守っていくとの決意を表明すべきであると考えているが、本市の見解を問う。</p> <p>2 高齢者の運転免許返納制度について</p> <p>(1) 高齢者の運転免許返納時の特典について (要旨) 本市は高齢者の運転免許返納時に図書カード贈呈等の特典を付与する事業を実施しているが、高齢者のニーズに合わせてタクシー券も選択できるようにしてはどうか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	寺井吉広(自民党 真誠会)
発言事項	<p>1 社会福祉協議会の事業について</p> <p>(1) 法人運営事業の現状について (要旨) 社会福祉協議会は、プロパー職員を中心とした組織体制の整備に努め、常勤職員が146名、非常勤職員が47名という大きな組織となっているが、適材適所の人員配置になっているのか。また、市の委託事業が各担当部署から別々に委託されることが、人件費の扱い等、組織運営の弊害になっていないかを問う。</p> <p>(2) 総合福祉センター管理運営事業について (要旨) 新館がオープンして9カ月経つが、貸室の利用が少ないと聞く。貸室の利用状況はどうか。利用条件を変更してはどうか。</p> <p>2 地域住民の支え合いを進める拠点・居場所づくりについて</p> <p>(1) より身近な地域の拠点・居場所づくりについて (要旨) 本市では、共生社会づくりに向け、相談や交流の拠点として「地域総合支援センター」や「地域支え合いの家」を設置し、生活支援コーディネーターや社会福祉士等の専門職員がかかわりながら、伴走型の寄り添い支援が行われている。より身近で気軽に利用できる空き家等を活用した住民主体の拠点・居場所づくりが必要であると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>3 スポーツ振興について</p> <p>(1) 明石市スポーツ振興計画について (要旨) 現在の本市のスポーツ振興計画は、来年度に最終年度を迎える。計画の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) スポーツ分野の運営組織について (要旨) 市内にはスポーツ関連団体が多数あるが、情報共有や連携といった組織的対応が不十分であると考える。また、団体によって市の所管が違い、組織の統率を図るのは難しい状況である。市の見解を問う。</p> <p>(3) スポーツをする環境づくりについて (要旨) スポーツをする環境づくりのためには、ハード・ソフト両面の対策が必要である。公共スポーツ施設整備や、年代や障害の有無を問わずスポーツに取り組むきっかけづくり、機会の提供は十分に行われているのかを問う。</p>		

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 議案第5号 明石市住民投票条例制定のことについて</p> <p>(1) 検討委員会の答申について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 答申どおりの案にしなかったことについて (要旨) 見解を問う。</p> <p>2 生活保護行政について</p> <p>(1) 生活保護行政のあり方検討チームについて (要旨) 検討状況について問う。</p> <p>(2) 紛失した保護費約203万円について (要旨) まもなく年度末を迎える。認識を問う。</p> <p>3 JR大久保駅―魚住駅間の大規模車両基地計画について</p> <p>(1) 12月議会の答弁と委員会報告について (要旨) 12月議会の答弁及び総務常任委員会の報告資料は、公開請求により得た情報との違いが大きい。改めてこれまでの取り組みと認識を問う。</p> <p>(2) 市長の考えについて (要旨) この計画に対する見解を問う。</p> <p>(3) すべての情報を公開することについて (要旨) 情報が少なすぎて判断できない。市は、なぜ情報を隠すのか。隠さなければならない事情があるのか、見解を問う。</p> <p>4 都市計画道路山手環状線大窪工区について</p> <p>(1) 大窪八幡神社の宮総代・各村役員等による決議書について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 大窪八幡神社に係る地元からの要望等について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(3) 今後の進め方について (要旨) 認識を問う。</p>		